

レンブラント作《ヤン・シックスの肖像》とファン・ゴッホ

Vincent van Gogh and *The Portrait of Jan Six* by
Rembrandt van Rijn

千速 敏男

Toshio CHIHAYA

レンブラント作《ヤン・シックスの肖像》とファン・ゴッホ

Vincent van Gogh and *The Portrait of Jan Six* by Rembrandt van Rijn

千速 敏男
Toshio CHIHAYA

教授（西洋美術史）

Between May 1888 and July 1889, around the time Vincent van Gogh lived with Paul Gauguin in Arles, van Gogh wrote letters to his brother Theo, in which he repeatedly referred to Rembrandt van Rijn's *Portrait of Jan Six*. Van Gogh admired Jan Six's calm and collected character and compared him to his brother Theo.

レンブラント・ファン・レインの《ヤン・シックスの肖像》（1654年、シックス財団、アムステルダム）〔註1〕は、自らのパトロンであった実業家で、レンブラント死後の1691年にはアムステルダム市長も務めたヤン・シックス（Jan Six, 1618-1700）〔註2〕を描いた肖像画で、今もシックス家が所蔵する。しかしながら、定期的に公開されており、近年では、2015年にアムステルダム国立美術館で開催された「後期レンブラント展」（2月12日～5月7日）〔註3〕で公開された。おそらくは、急の仕事で呼び出されて私邸から職場に出かけるところであろう。マントをはおり、手袋をはめながら仕事の段取りを考えるヤン・シックスの表情が大まかな筆致で巧みに表現された名品である。〔註4〕

フィンセント・ファン・ゴッホの書簡のデータベース、*Vincent van Gogh The Letters*〔註5〕によれば、ファン・ゴッホは5回ほどこの《ヤン・シックスの肖像》に言及しているが、それは興味深いことに、以下のように1通を除き、1888年5月から1889年7月までという特定の時期に集中している。

送信年月日	送信地	送信宛て
1875年9月12日	パリ	テオ・ファン・ゴッホ
1888年5月28日	アルル	テオ・ファン・ゴッホ
1888年9月10日	アルル	テオ・ファン・ゴッホ
1888年12月18日	アルル	テオ・ファン・ゴッホ
1889年7月2日	サン＝レミ	テオ・ファン・ゴッホ

本稿では、上記5通の書簡を読み、フィンセント・ファン・ゴッホがレンブラント・ファン・レインの《ヤン・シックスの肖像》に対してどのような思いを抱いていたかを明らかにしたい。

最初は、1875年9月12日にパリから弟、テオ・ファン・ゴッホに送った書簡〔註6〕である。この年の5月からフィンセント・ファン・ゴッホはグーピル商会のパリ本店に勤務しており、〔註7〕まだ画家を志してはいない。

〔註1〕 RKD. Rembrandt, Portrait of Jan Six (1654)
<https://rkd.nl/en/explore/images/33925>
※以下、最終閲覧日はすべて2021年2月1日である。

〔註2〕 RKD. Jan Six (1618-1700)
<https://rkd.nl/en/explore/artists/435434>

〔註3〕 Rijksmuseum. Press release: Late Rembrandt at Rijksmuseum (October 13 2014 - 12:00 PM)
<https://www.rijksmuseum.nl/en/press/press-releases/late-rembrandt-at-rijksmuseum>

〔註4〕 マイケル・キットソン著千速敏男訳『レンブラント』西村書店、1997年、88ページ。Michael Kitson, *Rembrandt*, 3rd ed., Phaidon, London/New York, 1992, p.88. クリストファー・ブラウン著千速敏男訳『オランダ絵画』西村書店、1994年、78ページ。Christopher Brown, *Dutch Painting*, 2nd ed., Phaidon, London/New York, 1993, p.78

〔註5〕 Vincent van Gogh The Letters.
<http://vangoghletters.org/vg/>

〔註6〕 Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Paris, Sunday, 12 September 1875.
<http://vangoghletters.org/vg/letters/let047/letter.html>

〔註7〕 二見史郎著『ファン・ゴッホ詳伝』みすず書房、2010年、35ページ。

Gij kent de ets van Rembrandt, Burgemeester Six die voor 't venster staat te lezen. Ik weet Oom Vincent & Cor daar zeer veel van houden, & ik denk wel eens dat op hen moet geleken hebben toen zij jonger waren. Gij kent het portret van Six toen hij ouder was ook, ik geloof er eene gravure van in den winkel bij U is. – Dat leven van hem moet wel een mooi & ernstig leven geweest zijn. –

レンブラントのエッチングを知っているかい？ 窓の前に立って本を読んでいる市長シックスのエッチングだ。ご存じのとおり、フィンセントおじさんとコルおじさんがとても気に入っている。そして、私は時々、彼らが若い頃、あのように見えたに違いないと思んだ。シックスがもっと年をとった時の肖像画も知っているだろう。君の店にはその模刻版画があるはずだ。シックスの人生は、立派で真面目な人生だったに違いない。

[註 8] RKD. Rembrandt, Portrait of Jan Six (1647)
<https://rkd.nl/en/explore/images/168462>
国立西洋美術館. レンブラント・ファン・レイン, ヤン・シックスの肖像.
<https://collection.nmwa.go.jp/G.2013-0002.html>

[註 9] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Paris, Sunday, 12 September 1875. Note 9.
<http://vangoghletters.org/vg/letters/let047/letter.html>

[註 10] 二見史郎著『ファン・ゴッホ詳伝』みすず書房, 2010年, 2ページ。

[註 11] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Arles, Monday, 28 May 1888.
<http://vangoghletters.org/vg/letters/let615/letter.html>

レンブラント・ファン・レインの「窓の前に立って本を読んでいる市長シックスのエッチング」は、1647年に制作された作品で、国立西洋美術館も所蔵している。[註 8] 左下に記された銘文によれば「ヤン・シックス 29 歳 (IAN SIX AE: 29)」のときの作品である。一方、「シックスがもっと年をとった時の肖像画」が、1654年の油彩による肖像画のほうである。「君の店にはその模刻版画がある」とあるが、*Vincent van Gogh The Letters* の註 [註 9] によれば、ヨハン・ウィルヘルム・カイザーが模刻したエングレーヴィングであろうとのことである。

「フィンセントおじさんとコルおじさん」は、画家ファン・ゴッホの父、テオドルス・ファン・ゴッホの兄弟、つまり画家ファン・ゴッホにとってはおじたちである。同名の「フィンセントおじさん」は Vincent van Gogh (1820-1888) で、父テオドルスの兄、つまり伯父であり、「コルおじさん」のほうは Cornelis Marinus van Gogh (1824-1908) で、父テオドルスの弟、つまり叔父であった。[註 10] いずれも画商であり、このおじたちの紹介でフィンセントはグーピル商会に勤めていた。この二人のおじに対して、画家ファン・ゴッホは「彼らが若い頃、あのように見えたに違いない」と「窓の前に立って本を読んでいる市長シックス」に重ね合わせ、さらに「シックスの人生は、立派で真面目な人生だった」と述べている。

このように、画家ファン・ゴッホにとって、ヤン・シックスは「立派で真面目」な人物であった。このヤン・シックスの人物像は、10年以上のちの 1888 年から 1889 年にかけての書簡においても一貫している。

次は、1888年5月28日にアルルから弟、テオ・ファン・ゴッホに送った書簡 [註 11] である。1888年2月20日にアルルに到着したフィンセント・ファン・ゴッホが、閔府寺司によれば「仲間の画

[註12] 圀府寺司著『ゴッホ：日本の夢に懸けた芸術家』角川書店，2010年，93ページ。

家と弟テオまでもアルルに誘っていた時期」[註12]の書簡である。

Tu comprendras – cela me chagrinerait de te pousser à gagner de l'argent, restons plutôt ensemble en tout cas – là où il y a une volonté il y a un chemin et je sens que tu te guériras pour toute une série d'années si tu te guéris maintenant. Mais ne t'éreintes pas maintenant ni pour moi ni pour d'autres. Tu connais le portrait de Six vieux, un homme qui s'en va son gant à la main, bon, vis jusqu'à que tu t'en aille comme cela, c'est comme cela que je te vois, marié, ayant une position à Paris crâne. Tu joueras un bon rôle de cette façon. 君にはわかるだろう——金を稼ぐために君を追い込むのは私を悲しませる、いずれにせよ、いっしょにしよう——意志があれば道はある、今治せばこの先何年も良好だと思う。でも、今は自分を消耗させないでくれ、私のためにも、他の人たちのためにも。君は、年老いたシックスの肖像画を知ってるだろう、手袋を手にして出かける男、こんなふうに出かけるようになるまで生きてくれ、僕にはそう見えるんだ、結婚して、パリで確固たる地位を得る。君はこうして良い役回りを演じるだろう。

体調を崩した弟テオを気遣いながらも、「いっしょにしよう」と呼びかけている。そして、「年老いたシックスの肖像画」が引き合いにだされ、「こんなふうに出かけるようになるまで生きてくれ」と、今度は、弟テオがヤン・シックスと重ね合わされている。すでにパリで画商として生計を立てていた弟テオが、同じように画商を営んでいた「フィンセントおじさんとコルおじさん」に続けてヤン・シックスと重ね合わされたのである。

第三の書簡は、同じ1888年の9月10日にアルルから弟テオに送ったもの[註13]である。アルルでの共同生活への呼びかけに対して、すでにポール・ゴーガンが興味を抱き、書簡を送っていた。この弟テオ宛ての書簡には、「ゴーガンからの書簡を同封した(Ci inclus lettre de Gauguin qui est arrivée simultanément)」と冒頭に記されている。しかし、圀府寺司によれば「ゴーガンがアルルに来たのは、ファン・ゴッホの理想を共有していたからではない。アルルに合流すればテオの資金援助が受けられたからである。金に困っていたゴーガンはアルルに行くことで当面の生活費、制作費を確保し、そのうち絵が売れるようになれば、南太平洋に行こうと考えていたのである。」[註14]

[註13] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Arles, on or about Monday, 10 September 1888. <http://vangoghletters.org/vg/letters/let679/letter.html>

[註14] 圀府寺司著『ゴッホ：日本の夢に懸けた芸術家』角川書店，2010年，135ページ。

Et je me dis que même s'il faut dégringoler dans la fatalité des choses il faudrait encore faire comme cela. Seulement j'écarte de plus en plus l'idée de cette dégringolade lorsque je

pense à la sérénité que nous voyons sur les visages dans les Frans Hals et dans les Rembrandt tel que le portrait de Six vieux, tel que dans le sien, tel que dans ces Frans Hals que nous autres connaissons bien à Harlem des vieillards et des vieilles femmes.

il vaut mieux avoir de la sérénité que d'être trop craintif.

Pourquoi donc jeter de hauts cris à l'occasion de cette affaire avec Gauguin. S'il vient avec nous autres il fera bien et nous voulons bien qu'il vienne.

そして私は、たとえ物事の必然性の中に転落しなければならぬとしても、それでもそのようにすべきだと自分に言い聞かせています。しかし、フランス・ハルスやレンブラントの顔、たとえば老シックスの肖像や自画像、そしてハールレムにある私たちの知っているフランス・ハルスの肖像画、老人たちと老婆たちの肖像画に見られる静けさを考えるとき、私はますます、そのような転落という考えを否定するようになってきています。

あまりにも恐れるよりも、静けさを持っている方が良いのです。なぜゴーガンとのことで騒ぐのですか？ 私たち二人といっしょに来てくれればうまくいくでしょうし、ぜひ来てほしいのです。

[註 15] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Arles, on or about Monday, 10 September 1888. Note 5. <http://vangoghletters.org/vg/letters/let679/letter.html>.

[註 16] Joconde. REMBRANDT AU CHEVALET. <https://www.pop.culture.gouv.fr/notice/joconde/000PE008562>
RKD. Rembrandt, Self Portrait. at the Easel. <https://rkd.nl/nl/explore/images/29943>

[註 17] RKD. Hals, Regents of the Old Men's Almshouse. <https://rkd.nl/nl/explore/images/10889>
RKD. Hals, Regentesses of the Old Men's Almshouse. <https://rkd.nl/nl/explore/images/10892>

[註 18] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Arles, on or about Monday, 10 September 1888. Note 6. <http://vangoghletters.org/vg/letters/let679/letter.html>.

[註 19] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Arles, Monday, 17 or Tuesday, 18 December 1888. <http://vangoghletters.org/vg/letters/let726/letter.html>.

Vincent van Gogh The Letters の註 [註 15] によれば、レンブラントの自画像は、ルーヴル美術館で弟テオといっしょに鑑賞した《イーゼルの前に立つ自画像》(1660年頃) [註 16] とのことである。また、フランス・ハルスの「老人たちと老婆たちの肖像画」は、《養老院の男性理事たち》と《養老院の女性理事たち》(いずれも 1664年頃、フランス・ハルス美術館, ハールレム) [註 17] とされる。[註 18] これらの作品とともに《ヤン・シックスの肖像》が挙げられ、これらの「肖像画に見られる静けさを考える」と述べている。ここでも、ヤン・シックスは、沈着冷静な人物として思い浮かべられた。

第四の書簡は、1888年の12月18日にアルルから弟テオに宛てたもの [註 19] である。すでに10月23日にポール・ゴーガンはアルルに到着しており、ファン・ゴッホとの共同生活も2ヵ月目に入った。

Tu connais l'étrange et superbe portrait d'homme par Rembrandt de la galerie Lacaze, j'ai dit à Gauguin que pour moi je voyais là-dedans un certain trait de famille ou de race avec Delacroix ou avec lui, Gauguin.

Moi, je ne sais pourquoi, appelle toujours ce portrait "le voyageur" ou l'homme venant de loin.

Cela c'est une idée équivalente et parallèle à ce que je t'ai déjà dit à toi-même, de regarder toujours le portrait de Six vieux. le beau portrait au gant pour ton avenir, et l'eauforte de Rembrandt, Six lisant près d'une fenetre dans un rayon de soleil, pour ton passé et ton présent.

Voilà où nous en sommes.

Gauguin me disait ce matin lorsque je lui demandais comment il se sentait: "qu'il se sentait revenir sa nature ancienne" ce qui m'a fait bien plaisir.

君はギャラリー・ラカズにあるレンブラントの一風変わったすばらしい男の肖像を知っているね。僕にはあの肖像のなかにドラクロワもしくは彼、ゴーガンとどこか通ずる家族的ないし種族的特徴が見てとれるんだ、とゴーガンに向かって僕は言った。僕はなぜかわからないが、いつもこの肖像を「旅人」とか「遠くから来た人」とか呼んでいる。これは君自身に対して以前に言ったことと対応する似かよった想念だ——つまり、老シックスの肖像、あの手袋をしたみごとな肖像を見ているといつも君の未来を思い、レンブラントのエッチング、窓辺の一条の陽光のなかで本を読むシックスを見ては君の過去と現在を思うのと同じだ。こういうのが僕らの状況だ。けさゴーガンに自分をどのように感じているのかと尋ねたところ、「昔の自分の本性が戻ってきた感じだ」と彼は言っていた。これを聞いて僕はとてもうれしかった。[註20]

[註20] 二見史郎編訳圀府寺司訳『ファン・ゴッホの手紙』みすず書房, 2001年, 318ページを参照した。

[註21] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Arles, Monday, 17 or Tuesday, 18 December 1888. Note 26.
<http://vangoghletters.org/vg/letters/let726/letter.html>.
Joconde. Jeune homme au bâton.
<https://www.pop.culture.gouv.fr/notice/joconde/000PE00857/>

「ギャラリー・ラカズにあるレンブラントの一風変わったすばらしい男の肖像」は、*Vincent van Gogh The Letters* の註 [註21] によれば、現在ではレンブラントの真作とは見做されていない《杖を持つ若い男の肖像》(1651年頃、ルーヴル美術館)である。この《杖を持つ若い男の肖像》に「ゴーガンとどこか通ずる家族的ないし種族的特徴が見てとれる」と、ファン・ゴッホは述べている。それに続けて、「老シックスの肖像、あの手袋をしたみごとな肖像を見ているといつも君の未来を思い、レンブラントのエッチング、窓辺の一条の陽光のなかで本を読むシックスを見ては君の過去と現在を思う」と書いた。1654年の油彩画による《ヤン・シックスの肖像》が弟テオの未来であり、1647年の銅版画による《ヤン・シックスの肖像》が弟テオの過去と現在だというのである。ここでも、弟テオがヤン・シックスと重ね合わされた。

ところが、「僕はとてもうれしかった」と書き送ったわずか5日後、あの耳切り事件が起こった。圀府寺司はこう記している。「1888年12月23日の夜、ファン・ゴッホは自宅で自分の耳の一部を剃刀で切り取って、その肉片をラシェルという娼婦のもとに持っていき『これを大事に持っておいておくれ』と手渡したという。翌朝、ファン・

ゴッホは自宅で瀕死の状態にいるところを警察に発見された。精神疾患の発作を起こしていた。発作の引き金になったのは、ゴーガンがアルルを去る意思を伝えたことか、あるいは、テオの結婚の知らせであったかもしれない。なぜこんなことをしたのかと医師に問われた時、ファン・ゴッホ自身は『それは個人的な事情だから』と言って明言を避けたという。身の危険を感じたゴーガンは事件後すぐにアルルを去っている。〔註22〕後始末をしたのは、パリから駆けつけた弟テオであった。

[註22] 関府寺司著『ゴッホ：日本の夢に懸けた芸術家』角川書店、2010年、135-136ページ。

[註23] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Saint-Rémy-de-Provence, Tuesday, 2 July 1889. <http://vangoghletters.org/vg/letters/let784/letter.html>.

最後の書簡は、翌1889年の7月2日、サン＝レミから弟テオに宛てたもの〔註23〕である。サン＝レミの療養院に自ら入院してから、すでに2ヵ月ほどが経っていた。弟テオがシェイクスピアの戯曲を送ってくれたことに感謝して「これは僕の知っているささやかな英語を忘れないようにする助けになってるし、なによりもすばらしい (Cela va m'aider à ne pas oublier le peu d'anglais que je sais - mais surtout c'est si beau.)」と述べたあと、レンブラントとシェイクスピアを比較してこう記した。

Ainsi ce que seul ou presque seul Rembrandt a parmi les peintres, cette tendresse dans des regards d'êtres que nous voyons soit dans les pèlerins d'Emmaus soit dans la fiancée juive, soit dans telle figure étrange d'ange ainsi que le tableau que tu as eu la chance de voir - cette tendresse navrée, cet infini surhumain entreouvert et qui alors paraît si nature, à maint endroit on le rencontre dans Shakespeare. Et puis des portraits graves ou gai tel le Six, tel le voyageur, tel la Saskia, c'est surtout cela dont c'est plein.

こうして、画家のなかでもただ一人、あるいはただ一人と言っていいくらいのレンブラントがそなえているもの、たとえばエマオの巡礼者たちとか、ユダヤの許嫁とか、君が見る機会を得たあの不思議な天使の像などに見られる、その者たちのまなざしのあのやさしさ、そうした深い悲しみを負ったやさしさ、そこに垣間見える超人的な——その場ではいかにも自然に見える——あの無限性、そうしたものにシェイクスピアでもあちこちで出会うことになる。それにまた、とりわけシックスのような、また旅人のような、サスキアのような厳粛な、あるいは陽気な肖像、そうしたものがことにそこにはいっぱいある。〔註24〕

[註24] 二見史郎編訳関府寺司訳『ファン・ゴッホの手紙』みすず書房、2001年、352ページを参照した。

[註25] RKD. Rembrandt, The Supper at Emmaus. <https://rkd.nl/en/explore/images/52817>

[註26] RKD. Rembrandt, Portrait of a couple as Isaac and Rebecca. <https://rkd.nl/en/explore/images/3068>

「エマオの巡礼者たち」はルーヴル美術館所蔵の《エマオの晩餐》(1648年)〔註25〕、「ユダヤの許嫁」はアムステルダム国立美術館所蔵の《イサクとリベカに扮したカップルの肖像 (ユダヤの花嫁)》(1662-66年頃)〔註26〕である。一方、*Vincent van Gogh The Letters* の註によれば、「天使の像」は現在ではレンブラントの真作とは見做され

[註27] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Saint-Rémy-de-Provence, Tuesday, 2 July 1889. Note 9.
<http://vangoghletters.org/vg/letters/let784/letter.html>.

[註28] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Saint-Rémy-de-Provence, Tuesday, 2 July 1889. Note 12.
<http://vangoghletters.org/vg/letters/let784/letter.html>.

[註29] Vincent van Gogh The Letters. To Theo van Gogh. Saint-Rémy-de-Provence, Tuesday, 2 July 1889. Note 11.
<http://vangoghletters.org/vg/letters/let784/letter.html>.

ていない《大天使ラファエロ》(所在不明) [註27] とのことであり、「サスキア」も現在ではレンブラントの真作とは見做されていないという。[註28] いずれも、かつて弟テオといっしょに鑑賞したことのあつた作品とのことである。そして、「旅人」は、前述の1888年12月18日の弟テオ宛ての書簡に出てきた《杖を持つ若い男の肖像》としている。[註29] これらの作品とともに、《ヤン・シックスの肖像》が挙げられた。

《ヤン・シックスの肖像》を思い浮かべたのち、それに続けて《杖を持つ若い男の肖像》を思い浮かべたのは、弟テオに続けてゴーガンを思い浮かべたからであろうか。ポール・ゴーガンとの激しい共同生活に前後する時期、フィンセント・ファン・ゴッホが、レンブラント・ファン・レインの作りあげたヤン・シックスの沈着冷静な人物像をくりかえし思い起こし、さらに弟テオに重ね合わせていたということに気づいたとき、美術史を通底する画家の苦悩にふれたように思われた。

